

普及へDVD 遠州信金に寄贈

今秋のラグビーワールドカップ（W杯）日本大会に向けて女性ファン開拓を目指す県と地元大学生の連携プロジェクト「ラ☆ガール」のメンバーが十一日、浜松市中区中沢町の遠州信用金庫本店を訪れ、ラグビー普及のために制作したDVDを贈った。同信金は寄贈を受けたDVDを浜松、湖西市の計二十五店舗で上映する。



県は、W杯を盛り上げるため、競技を詳しく知らない人が多い女性を狙って、広報活動などを通じてラグビーへの理解を広める「ラ☆ガール」を地元的大学生などに任せている。今回は静岡文化芸術大三年の佐藤有純さん（左）と愛知県岡崎市、鈴木晴日さん（右）と静岡市葵区が同信金を訪れ、鈴木常務理事に手渡した。



文化芸大生ら

「三本立て。ラグビーのイメージを聞かれて「マツチョロみたいな」と答えたので、女子学生が、プレイした。」

「映像を見て「見応えある」と興味を示す様子が取れられている。制作に関わった佐藤さんは「父に話したら、ラグビーについて話したり試合に行くようになった。身近な人から、つながればいいと思う」。鈴木さんは、「女子学生の素直な気持ち

完成したDVDを持つ（左から）鈴木さん、佐藤さん、鈴木常務理事＝浜松市中区中沢町の遠州信用金庫本店で

2019.6.12

中日新聞（朝刊）P.14